

第 23 回解剖技術研究・研修会参加報告

医学系部門 基礎社会医学班 清水 伸輝

1. はじめに（目的等）

本会は日本解剖学会術日総会にて併行して行われる解剖技術研究会であり、解剖学関係の技術職員、解剖組織技術士の研修を目的とし、形態学分野における技術の伝承と発展を基本理念と考え、日常の解剖技術業務に関する報告、現状の問題点等を研究会での発表を通して意見交換を行い、今後の業務遂行に役立てることとしている。

2. 期間・場所

期間：2022 年 3 月 23 日（水）

場所：オンライン開催（zoom形式）

3. 参加者等

各大学の解剖学技術職員 約 50 名

4. 研修内容

今回の研修会では、日本解剖学会認定解剖組織技術者功労賞受賞講演 1 題、コロナ禍における献体業務に関するアンケート結果報告、全体討論としてサージカルトレーニング用の御遺体提供状況や感染対策、御遺体取り違い防止や御遺骨返還についての情報交換を行った。

5. まとめと感想

今回の解剖技術研修会では、外科手術手技修練の為の解剖（サージカルトレーニング）が実施されており、各大学においての実施回数や開催時期、御遺体使用状況等の情報を得ることが出来た。御遺体取り違い策としては、事務方との連携をし献体者へラベル（番号）取付そして棺の番号確認の徹底、今後も細心の注意を払い業務を行う。

また近年、献体登録者数の減少傾向もみられており、今後の傾向が気になるところでもある。